

北海道公民教育学会第4回研究大会のご案内（第二次案内）
大会テーマ：「よりよい社会形成への資質・能力を育む公民教育の在り方」

〔趣旨〕

今日の社会変動は一層激しさを増しています。世界の分断と対立は、政治・経済・社会等のあらゆる分野や領域を超えて激化し、ウクライナやパレスチナ戦争と平和維持機能、民主主義と独裁・権威主義、関税保護と自由貿易、SNSの普及と情報の拡散、DXの進展と経済・社会の仕組み、地球環境問題とSDGsの課題など、人類全体に大きな課題を投げかけています。これらは、第2次世界大戦後の世界秩序である国連の平和維持やGATT・IMFの自由貿易・経済をはじめ、民主主義や多様性・公平性の尊重などの価値をも揺るがせ、人間としての在り方生き方に多大な影響をもたらすなど、まさに転換期の様相を呈しています。

また、私たちの北海道は人口減少・少子高齢の課題先進地として、地域の持続可能性など課題解決に向けてのウェルビーイングやエージェンシーなどが求められています。

こうした中で「平和で民主的な国家・社会の形成者を育む」ためには、「公民教育」の果たす役割が一層重要になっており、昨年末から開始された中教審における次期学習指導要領の検討の状況や小・中・高等学校と大学をはじめとした教育改革の動向をも注視したいと思います。

これらのことから本大会では、VUCAの時代にあって「よりよい社会形成への資質・能力を育む公民教育の在り方」をテーマとして、会員相互の研究実践交流と課題解決型の研究大会を実施いたします。

1 期 日

令和7年（2025年）10月4日（土）

2 会 場

北海商科大学2号館5階 多目的ホール他

札幌市豊平区豊平6条6丁目10番地 TEL (011)841-1161（代）

（会場は地下鉄東豊線「学園前」駅4番出口と直結しています）

3 主 催 北海道公民教育学会

4 後 援（予定）

北海道教育委員会、札幌市教育委員会、北海道高等学校長協会、北海道私立中学高等学校協会、北海道高等学校政治経済研究会、北海道高等学校「倫理」「公共」研究会

5 日 程

9:00 9:30 9:45 11:55 13:05 14:05 17:00 17:10

受付	開 会 式	自由研究発表	昼 食 (総会)	基調講演	シンポジウム	閉 会 式
----	-------------	--------	-------------	------	--------	-------------

6 自由研究発表（発表20分・質疑応答10分）

（発表者はお申し込み順に記載。当日は3分科会を設定します。）

①「高等学校公民科「公共」における「問いをつくる」授業の開発」

－ 中学校「道徳」教育との連携した取り組みを中心に －

佐 藤 克 宣（北海道札幌南高等学校）

②「良識ある公民としての資質能力を育む『公共』と『特別活動』について」

下 川 欣 哉（北海道札幌南高等学校）

③「性的同意を生徒はどのように捉えるか」

－ 社会的課題を取り上げた考査の出題を事例に －

菅 野 真 文（北海道函館中部高等学校）

④「小規模校で”思考・判断・表現”をどのように育成するか」

杉 山 拓 哉（北海道置戸高等学校）

⑤「よりよい社会を実現する力を育む公民学習」

西 澤 英 剛（札幌市立向陵中学校）

⑥「教職課程」における学習過程を重視した「授業実践力」の育成に向けた方法と工夫」

川 瀬 雅 之（北翔大学）

⑦「アプリケーションを利用した株式投資の実践」

小 玉 拓 誉（北海道室蘭東翔高等学校）

⑧「弁護士と連携した法教育実践」

中 村 大 輔（札幌光星中学校・高等学校）

⑨「絵本を活用しての日本国憲法の授業実践と効果」

菊 地 達 夫（北翔大学）

⑩「探究的視点に立った公民教育の実践」

佐 藤 友 洋（北海道札幌稲雲高等学校）

⑪「制服を考える総合的な探究の時間」

須 田 樹（北海学園札幌高等学校）

⑫「小規模校における新聞を活用した授業実践」

佐 藤 駿（北海道上川高等学校）

⑬「クリティカルシンキングで社説を読み解く」

兼 間 昌 智（札幌大学）

7 総 会(11:55～12:10) ※会員のみ

8 基調講演(13:05～14:05) （※基調講演とシンポジウムは連動します）

「未曾有のメディア転換期 子どもたちをどう守る？」

～SNS時代の「リスク」最前線～

水 島 宏 明 氏（ジャーナリスト・メディア研究者 元上智大学教授）

9 シンポジウム(14:15～17:00)

テーマ：「戦後 80 年、世界秩序不安と SNS 社会における公民教育を考える」

戦後 80 年を迎え、戦後の世界秩序が大きく揺らいでいる。戦後世界は「平和」と「自由経済」「民主主義」などの大原則を国連による国際秩序をもって維持・発展させようとするものであったのではないかと。しかし、終わらないウクライナ戦争をはじめ世界各地で頻発する戦争、自国中心主義と関税・保護貿易の助長、民主主義の脆弱と独裁・専制主義の台頭などは、まさに、世界秩序不安の様相を呈している。分断と対立、格差と差別など、人間としての在り方生き方を鋭く問い直す現代の社会には、常に SNS の存在が見え隠れする。強い危機意識の下、VUCA 時代に求められる公民としての資質・能力をどのように育むかを検討したい。

コーディネーター： 堂 徳 将 人（北海商科大学学長・北海道公民教育学会会長）

コメンテーター： 桐 谷 正 信（埼玉大学教授・日本公民教育学会副会長）

シンポジスト： 真 壁 佑 輔（札幌市立上野幌中学校教諭）

「SNS と参議院選挙の授業実践を通して」

白 田 裕 基（北海道旭川東高等学校教諭）

「新聞や SNS 等のメディアを活用した授業実践

～主権者としての資質・能力の育成に向けて～」

佐 藤 友 洋（北海道札幌稲雲高等学校教諭）

「主権者として『選ぶ力』を育てる

～溢れる情報とどう向き合うか～」

10 大会参加申し込み

次の方法によりお申し込みをお願いします。

- (1) Google フォームによる申込

<https://forms.gle/R2L7NqE7htYxzP9q9>

※上記 URL 又は、二次元コードを参照し、申込フォームよりお申し込みください。



- (2) 申込期間：令和7年7月28日（月）～9月26日（金） 締切

※なお、Googleフォームでの申し込みができない場合は、末尾の事務局までご連絡をください。

- (3) 参加費

大会当日、会場受付にてお支払いください。

- (4) 昼食の手配（幕の内弁当、お茶付き（代金1,100円）

お弁当の予約販売をいたします。ご希望の方のみ、お申し込みください。お申し込み後のキャンセルにつきましては、ご容赦ください。なお、当日、大学食堂は休業しておりますが、大学周辺にはファミレスやコンビニなどがあり、学内に飲食会場を用意します。

11 参加費

会員 1,000円 一般（非会員） 3,000円

※当日入会される方も参加費は1000円に割引されます。受付でお申し出ください。

12 懇親会

皆さまには、ぜひ、ご参加ください。

日 時：令和7年10月4日（土）18:00～20:00

会 場：DOIGT（ドワ）

札幌市中央区南4条西3丁目すすきのビル2F TEL 011-530-0123

地下鉄南北線すすきの駅から徒歩1分以内。NIKKOの看板のビル2F。

参加費：4,500円予定（オーダーバイキング方式2時間食べ飲み放題コース）

※お申し込み後のキャンセルにつきましては、ご容赦ください。

13 会員募集

本会では、会員を募集しています。会員の資格は北海道の学校（高等学校や大学、小中学校、教育委員会など）に勤務する方をはじめ、学生（大学院生）、教育関係者など、本会の趣旨に賛同される方を広く対象とします。年会費は2,000円です。

会員は、本学会研究紀要への投稿や研究大会等での発表の機会を得るとともに、研究紀要を配本いたします。また、会員間の情報共有、教育研究情報や授業資料の交流などに参加できます。また、研究大会へは、参加費3,000円のところ1,000円で参加できます。年会費2,000円は、研究大会当日にお納めください。なお、研究大会に参加できない方は、後日、銀行振り込みをお願いいたします。

※入会ご希望の方は、公式ホームページ

<https://www.dokomingakkai.com/%E4%BC%9A%E5%93%A1%E5%8B%9F%E9%9B%86/>

「加入申込」からお申し込みください。

※上記 URL 又は、二次元コードを参照してください。



14 お問い合わせ先

北海道公民教育学会

事務局長 志田 光瑞（北海道札幌北陵高等学校）

〒002-0857 北海道札幌市北区屯田7条8丁目5番1号

TEL(011)772-3051 FAX(011)772-3052

E-mail dokomingakkai@gmail.com